

書名	<b>皇位継承でたどる天皇陵</b>			著者名	渡部裕明／著		
出版社	産経新聞出版	ISBN	978-4-8191-1358-8	本体価格	¥1,400	発売	2019/3/4
内容	天皇陵は民族の精神遺産！天皇陵をめぐりながら皇位継承のストーリーをたどり日本の皇統がいかに引き継がれてきたかをわかりやすく解説。航空写真や地図を使いガイドブックとしても楽しめます。元号改変前に読んでおきたい皇室の歴史。						

書名	<b>神を統べる者 厩戸御子倭国追放篇</b>			著者名	荒山徹／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-005166-1	本体価格	¥1,800	発売	2019/2/22
内容	生まれながらにして、「人には見えないものに襲われる」幼い厩戸御子は悩んでいた。自ら覚えたお経で追い払おうとしたが効かず、それを祝詞で退散させた物部の姫と出会う。皇子の常人ならざるものを感じた崇仏派の蘇我馬子、排仏派の物部守屋は皇子をそれぞれの陣営へ取り込もうとする。しかし、皇子の存在をこの国に禍をもたらす存在と、危ぶんだ天皇が刺客を送り込む。馬子と守屋は共同で皇子を生かすため、海外へと送り出した！						

書名	<b>奈良傑作美仏大全</b>			著者名			
出版社	エイ出版社	ISBN	978-4-7779-5463-6	本体価格	¥1,500	発売	2019/3/12
内容	本書は歴史ある奈良に伝わる魅力あふれる仏像を、一冊の本にまとめてみました。奈良を訪ねたなら、絶対に見逃せない至宝を迫力の写真と専門家の解説でお届けします。						

書名	<b>元号と日本人</b>			著者名	宮瀧 交二／著		
出版社	プレジデント社	ISBN	978-4-8334-2314-4	本体価格	¥1,400	発売	2019/3/15
内容	2018年4月30日に今上天皇が譲位され、5月1日より新天皇のもとで新元号がスタートすることが決定。本書は「元号」について理解でき、さらに日本の歴史を学び直せる解説本。247あるすべての元号を掲載。「元号」が付いた事件や出来事を中心に解説しながら日本の歴史を紐解いている。いかに日本の歴史の重要な転換点に「元号」が使われているかがわかる1冊となっている。						

書名	日本正史			著者名	矢作直樹／著			
出版社	青林堂	ISBN	978-4-7926-0644-2	本体価格	¥1,400	発売	2019/3/20	
内容	ご譲位の前にぜひ読んでおきたい！日本の政(まつりごと)を動かしていたのは天皇だった！歴史を時の為政者ではなく、天皇を基軸にして時代を通覧する。日本史における様々な事件は、時の権力者、為政者、武士の視点から語られることが多く、その時代の天皇の役割についてはいわば添え物となっている。皇室に関する書籍を多数執筆している東大名誉教授の矢作直樹が、日本の歴史の流れを歴代の天皇からの視点で新たに解説したものである。							

書名	神を統べる者 覚醒ニルヴァーナ篇			著者名	荒山徹／著			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-005177-7	本体価格	¥1,950	発売	2019/3/20	
内容	倭国を追われ中国の南半分を領有する陳国に辿り着いた厩戸御子一行。しかし、厩戸の尋常ならざる霊的素質を見抜いた道教の指導者九叔道士によって攫われてしまう。道教に興味を持ち、その真理を探る厩戸は、囚われているもう一人の少年・楊広と出会う。一方、厩戸取り戻すべく倍達多ら仏教僧、虎杖、柚蔓たちは、道教教団と全面激突へ。果たして厩戸はナーランダー僧院へたどり着けるのか。							

書名	さよならよ、こんにちは			著者名	円居 挽／著 くまおり 純／イラスト			
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-515159-4	本体価格	¥1,350	発売	2019/3/20	
内容	森見登美彦、熱烈推薦！ 自らの揺籃の地、奈良を舞台に綴られる“本陣”達也の物語——。円居挽、二度目のデビュー作、ここに誕生。							

書名	予言文学の語る中世			著者名	小峯和明／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-02952-0	本体価格	¥4,800	発売	2019/3/25	
内容	古代から続く中世の予言書の一群は、太子信仰の展開とともに国家の命運を占うものとなっていく。予言文学、未来記の真髄を語る。							